

3月  
定例会

2/26 ~ 3/27

# 令和2年度鴻巣市一般会計予算決まる

## 輝く未来へ向けて始動の1年



3月定例会は、2月26日から3月27日までの31日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和2年度鴻巣市一般会計予算」など33件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・可決しました。

最終日に、委員会提出議案として1議案、議員提出議案として2議案が上程され、そのうち2議案は原案のとおり可決しましたが、1議案は否決となりました。請願2件は、不採択となりました。

### 令和2年度 会計別当初予算額 (単位：千円)

一般会計		39,635,000
特別会計	国民健康保険事業	11,558,000
	介護保険	8,920,000
	北新宿第二土地区画整理事業	778,000
	広田中央特定土地区画整理事業	116,000
	後期高齢者医療	1,465,000
	農業集落排水事業	134,000
	計	22,971,000
公営企業会計	水道事業会計	3,533,323
	下水道事業会計	4,370,815
	計	7,904,138
合計		70,510,138

**令和2年度一般会計予算の概要**

令和2年度一般会計予算の総額は、396億3500万円となり、過去最高額となります。前年度との比較では、額として27億3500万円の増、率にして7・4%の増となります。

歳入は、根幹をなす市税は、市民税が個人住民税の増を、固定資産税も、鴻巣駅東口駅通り地区における市街地再開発事業が完了したことなどによる家屋の課税客体の増加から増を見込んでいます。

歳出は、幼児教育・保育の無償化による民間保育所、認定こども園、幼稚園等に対する負担金、飼育施設建設工事を行うコウノトリの里づくり事業、改築工事を行う中学校給食センター整備事業などの増を見込んでいます。

## 主な事業に注目

(単位：千円)

### 安全・安心に暮らせるまちづくり

- 公共交通維持事業(乗合型デマンド交通)【新規】 56,485
- 公共交通維持事業(コミュニティバス) 141,480
- 防災意識向上事業【一部新規】 7,008
- 災害支援体制整備事業【一部新規】 107,894

### 住みたい・住んでよかったと思える快適なまちづくり

- コウノトリの里づくり事業 271,577
- 三谷橋大間線(3期工事)整備事業【新規】 27,000
- 道路改修事業 325,200
- 都市下水道維持管理事業【一部新規】 36,066

### いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

- 特定教育・保育所等支援事業 2,526,526
- こどもの医療費支給事業【一部新規】 371,447
- 病児・病後児保育事業【一部新規】 34,275
- 民間保育園等補助事業  
(ひなちゃん子育て応援基金補助金)【一部新規】 168,075

### 賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり

- こうのとりのパートナー事業【新規】 53,174
- 道の駅整備事業【一部新規】 48,245
- 産業団地整備に伴う周辺環境整備事業【新規】 8,063
- 賑わい創出交流拠点整備事業 8,520
- プレミアム付商品券支援事業【新規】 36,507

### 子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付くまちづくり

- 中学校給食センター整備事業 1,803,048
- 小学校教育用パソコン設置事業 159,179  
中学校教育用パソコン設置事業
- 児童生徒健康安全事業【一部新規】 90,435
- 学校花いっぱい運動事業 4,780

### 市民協働による、一人一人が主役のまちづくり

- ネットワークシステム事業【一部新規】 47,574
- 国土強靱化地域計画策定事業【新規】 2,110
- 鴻巣地区複合施設整備研究事業【新規】 7,000
- A I等を活用した働き方改革推進研究事業【新規】 1,006

## 当初予算 公共施設Wi・Fi導 入業務

問 整備される施設名、運用開始時期は。

答 Wi・Fiを整備する予定の施設は、市役所新館、本庁舎、吹上・川里両支所、福祉避難所に指定されている市内公民館8カ所、コミュニティセンター3カ所、クレアここのす、総合体育館、コスモアリーナふきあげ、花久の里の合計19カ所です。運用開始時期は、令和3年1月を予定しています。また、セキュリティの関係から、メール等による認証を受けた上で無料で利用できます。

## 当初予算 賑わい創出交流拠点整 備事業

問 市役所入口の埼玉縣信用金庫旧店舗の活用について、駅前再開発で新たにできたテナントも空きテナントとなっている中で、この場所を選んだ理由は。

答 市民アンケートの結果等から、市役所周辺エリアでカフェ等の要望があること、免許センターに1日当たり2000人以上の人が来ること、クレアここのすや陸上競技場に多くの人があることから、賑わいの創出拠点として、最適な立地環境である

と判断しました。

## 当初予算 鴻巣地区複合施設整備 研究事業

問 中央公民館エリアの再編を引き継ぐ形である市役所第二庁舎の整備をどのように考えているのか。

答 公民館の機能や児童センターの機能を兼ね備えた施設にしていきたいと考えています。さらに、中央公民館エリアと比較して、第二庁舎は車でのアクセス性に優れ、都市公園と一体となった活用も考えられるので、新たに民間資金等活用の調査業務委託を実施して、最終的にどういった方向性にするかを判断していきたいと考えています。

## 当初予算 AI等を活用した働き 方改革推進研究事業

問 AI等を活用した主な内容は。

答 1つ目は、RPAの実証実験で定型なパソコン作業を自動化するソフトウェア型ロボットを使い、これまで紙やデータをもとに職員が業務システムに手入力していた処理を、入力箇所や手順等をソフトウェア型ロボットに指示し、自動入力処理をするものです。2つ目は、市民からの問合せを24時間自動応答するチャ

ットボットの実証実験で、市ホームページのトップページに配置して、業務効率化と市民サービスの向上を図るものです。

## 当初予算 結婚支援事業

問 婚活ここのすから埼玉県の結婚支援事業へ移行した経緯は。

答 令和2年度から、市が県の結婚支援センターである「SARTAMA 出会いサポートセンター」に加入することにより、登録料が安くなりま

## 当初予算 小中学校ICT環境整 備業務

問 可動式学習者用パソコンの整備内容は。

答 現行の機器リースが令和2年度に満了になること、また、国が示す1人1台コンピュータの実現に向けたGIGAスクール構想により、4年4月までに全児童生徒1人1台、約9000台の可動式学習用パソコンの整備を目指しています。2年度は、

可動式学習者用パソコン3000台を整備し、GIGAスクール構想の補助金を利用可能となったことから、2000台をエントリーしました。これが内定されると、

3年4月には5000台の端末が稼働することになります。

残り4000台については、3年度中にエントリーし、4年

4月までには9000台の端末が整備されるよう、1人1台を目指しています。

問 配備の考え方は。

答 1人1台という前例のない教育環境が実現されることから、整備された台数を各学校に均等に配備することとはせず、令和3年度は、特定の中学校区について、ICT教育先駆校と位置づけることを考えています。他の小中学校については、各学校の児童生徒数を考慮し配備を行う予定です。

問 ICT活用支援に最も求められている要件は。

答 授業及び校務における活用支援、提案ができること、また教職員が支援なしでも活用できるようにスキルを身につけさせることとなります。



このような支援体制を設けることにより、将来的には教職員、児童生徒がICT機器を文房具のように日常的に活用することを目指したいと考えています。

### 当初予算 業 ひなおやクラブ補助事

**問** ボランティア活動への補助金とのことだが、事業内容と団体数は。

**答** 子どもの成長を見守りながら、親子で楽しめる活動を会員同士で検討してもらいます。事業としては、七夕やクリスマス会などの季節の行事や、ベビーマッサージや親子体操、歯科衛生士による歯磨き指導など、講師を招いての講座などがあり、ボランティア活動としては、児童センターまつりや子育てフェスタでのブース参加、ステージ参加、モニター参加、市内の公園でピクニックをしながら公園遊具の安全確認、市内中学校で行われている青少年子育てふれあい体験事業への参加協力などが考えられます。また、鴻巣、吹上、川里地域の3児童センターに1団体ずつを予定しています。



### 当初予算 業 鴻巣児童センター管理運営事業

**問** 購入予定の移動型プラネタリウムはどのようなものか。また、貸し出しは行うのか。

**答** ドーム型のプラネタリウムで、ドームは直径5m、高さは3.4m、児童20人が入れるものを予定しています。ドームは、テントのように畳んで収納するとポクシングのサウンドバッグ程の大きさになり、パソコンとプラネタリウム本体は、アルミ製ケースに入れ、持ち運ぶこととなります。また、鴻巣児童センターが拠点となりますが、7月に購入を予定しており、令和2年度は貸し出しせず、8月の夏休みから9館ある児童センターを巡回し、放映を計画しています。



### 当初予算 業 シニアボランティアポ イント事業

**問** 新規事業の1つであるが、この事業の内容は。

**答** 現在、制度を検討しており、新規登録は社会福祉協議会にお願いしたいと考えています。対象は、特別養

護老人ホーム、老人保健施設、デイサービスなどの介護保険施設や、市がお願いしている、サロンの、のすこ体操などでのボランティアとします。ボランティアを行った場合、1時間につき1スタンプ押印し、最大50個で5000ポイントとなり、5000円支給されます。令和2年度の早い時期に、実施したいと考えています。

### 当初予算 業 未就学児お散歩コース 安全対策工事

**問** 今年度と来年度の対応箇所は。

**答** 鴻巣警察署と合同でお散歩コースの安全点検を実施し、その結果、対策が必要な箇所が29カ所あり、内訳は県道が1カ所、鴻巣警察署の対応が7カ所、本市対応が21カ所となりました。市対応の21カ所のうち、令和元年度は2カ所、2年度は16カ所、残り3カ所は3年度の予定です。



### 当初予算 業 産業団地整備に伴う周 辺環境整備事業

**問** 箕田地区に予定の産業団地整備区

域とホームセンターの通りを結ぶ道路の、延長、幅員は何mの予定か。

**答** 延長は45mで、幅員は現在、県と協議中ですが、予算上は9mを予定しています。

**問** 入居する企業が決定していない中で、計画上の場所に新設道路を計画する理由は。

**答** 開発区域は、北側にフラワー通り、西側に熊谷バイパスがあり、東側には現在直接道路が接道していません。企業を誘致する上で土地の付加価値を上げるためにも必要と考えます。また、湛水機能を持たせるための調整池を計画することになっており、調整池の維持管理用道路として考えています。



### 当初予算 業 ブロック塀等撤去築造 補助金

**問** 危険ブロック塀等の把握、その所有者に対して指導や助言を行って

るのか。

**答**平成30年6月の大阪北部地震後に市内の小学校が通学路の安全点検を実施し、リストを作成しました。特にひび割れや傾きが大きいものは、建築住宅課の職員が個別に訪問し、注意喚起と補助金の説明をしました。このうちの1件は補助金を活用し改修されました。令和2年度以降も取組を継続していきます。

### 当初予算 道路改修事業及び道路改良事業

**問**合併から15年経つが、当時から要望が出されている路線などで、手つかずの状態の場所もある。どのように対応していくのか。

**答**毎年、道路等に対する要望等は約1600件もあり、危険箇所を最優先で対応しています。また現地確認に出向く際、補修材等を携行し、小さな補修はその場で補修しています。今後、個別施設計画を策定しますが、その中で道路改修工事については、起債事業等の対象となることから、計画的に改修工事が実施できると考えています。

### 当初予算 空家等適正管理事業

**問**今年度、鴻巣市空家等対策計画が

策定されたが、計画を基にさらなる事業推進のため、空家等対策協議会などどのような事項を協議するのか。

**答**適正な管理ができていない特定空家に対する措置に関するガイドラインを協議する予定です。また、具体的な特定空家に対する助言や指導についても、協議会に諮りながら進めていきます。

### 当初予算 公園施設長寿命化計画策定業務委託料

**問**せせらぎ公園と鴻巣公園の長寿命化計画を策定することのだが、両公園の課題は。

**答**鴻巣公園については、ウレタンで施工した遊歩道があり、経年劣化により割れが生じてきたことから、ここ数年少しずつ補修しています。また、トイレが2カ所あり、南小学校裏手のトイレは30年近く経過しており、うす暗くきれいとは言えない状況です。せせらぎ公園については親水施設の底面のひび割れが確認でき、循環施設の部品なども適宜交換しているのが現状です。事後保全から予防保全への転換を目的として、



長寿命化計画を策定します。

### 当初予算 道の駅整備事業

**問**道の駅発展のため、農産物を強化することのだが、何を目指しているのか。

**答**本市の農業は花卉と米麦が中心で、野菜は生産者、生産量ともに非常に少ない状態です。道の駅の事業の成功には目玉となる地元野菜の生産の拡大が必須です。それらの体制整備支援ということで、ハウスなどを活用するイチゴやキュウリなどの果菜類に対するそれぞれのハウスの特徴を生かした技術支援や、切れ目なく農産物を出していくために収穫期間を延ばす技術への体制整備に支援をしていきます。

**問**女性や子どもをターゲットとしているようだが、子どもの遊び場などのアトラクションも検討されているのか。

**答**道の駅の売り上げを持続させるためには、リピーターが必要と考えます。なるべく近所の市民に寄つてもらせるような仕掛けの中で、子ども連れで来られるようなキッズスペース等、女性にアピールできるようなところをつくっていきたいと検討しています。

### 当初予算 消防水利施設管理事業

**問**現在の消火栓の現状と補修内容は。

**答**消火栓は令和元年度末で、約1400基設置してあります。毎年1回消防本部の点検を受けていますが、ナットの腐食が進行しているものやバルブの開閉が困難なものなど、消火活動や維持管理上で支障のあるものについて報告があります。現在、修繕が必要な消火栓は158基あり、令和元年度は20基、2年度以降は30基ずつ修繕を行う計画です。

### 当初予算 防災行政無線管理事業

**問**昨年の台風の際に防災無線が聞こえづらかった課題を受けて、ポケベル電波を活用した機器を導入していくとのことだが、ラジオのようなものを配付するのか。

**答**ラジオの形をした戸別受信機を導入するもので、280メガヘルツ帯の電波を使い、暴風雨などでも防災行政無線の内容を聞くことができます。配付の対象や方法は今後検討しますが、その導入のための設計を行います。配付の導入の設計を行いたいと考えています。

**問**ハードを整えることも大切だが、それよりもフラワーラジオとの連携など、地域の民間等と協力していく

といったソフトの運用面のほうが今のところ大切だと思うが、どう考えるか。

**答** ハード面だけの整備でなく、例えば緊急速報メールの適切使用、市のホームページやツイッターの発信方法、フラワーラジオとの連携強化に加え、発信のタイミングや内容が一番基本的なことになると思うので、今後、これらについて、適切に行っていきたいと考えています。

### 当初予算 地域防犯体制支援事業

**問** 市内3駅周辺に防犯カメラ6台を設置することだが、駅のどの辺りに設置するのか。また、カメラのデータの保存期間はどのくらいか。

**答** 鴻巣駅、北鴻巣駅、吹上駅、各2カ所、振り込め詐欺被害を減らすための対策として、効果的な防犯カメラの設置に向けて鴻巣警察署と協議を進めています。また、カメラのデータの保存期間は、鴻巣市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱第6条に撮影日の翌日から起算して7日間と定められています。

### 条例の一部改正 鴻巣市市営住宅管理条例の一部改正

**問** 新たに市営住宅に入居する人は、

連帯保証人ではなく、緊急時等に連絡をとることができる者が署名した請書があれば入居できることになった。今後、滞納が出た場合の対応は。

**答** 滞納整理は、平成26年度より施行している鴻巣市市営住宅家賃等滞納整理事務処理要綱に基づき実施しています。26年時点で約900万円あった滞納額は、昨年度末では約200万円まで減少しました。要綱を確実に実施していけば滞納額が大幅にふえることはないと考えています。

### 条例の一部改正 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**問** 今回の改正で国民健康保険税賦課限度額が61万円に上がることだが、算出根拠は。

**答** 国民保険の賦課限度額については、受益と負担の関係で被保険者の納付意欲に与える影響を考え、政令で決められた限度額が令和元年度は61万円になっていますので、それを採用する改正を行うものです。

### 補正予算 ふるさと納税促進事業

**問** 寄附金額が増加した返礼品の内訳は。

**答** 主なものとして、花岡車輛の台車、みたく食品のもち麦、諏訪工業の太鼓、シードのコンタクトレンズ

のケア用品があります。鴻巣カンントリークラブのゴルフ1日プレー券は、今年度は利用券という形にしたところ、返礼品の中でも大きな伸びとなりました。

### 補正予算 定住促進事業の三世代住宅取得等補助金

**問** 申請内容、年齢層、家族構成は。

**答** 令和2年3月13日時点で、転入が33件、市内転居が43件の合計76件の申請があり、そのうち、三世代の転入が6件、土地区画整理事業地内への転入、転居が5件となっています。また、年齢層は20代、30代が68件で約90%となり、第1子が未就学児である件数は62件で約82%、子どもの数が1人という世帯は39世帯、2人が29世帯、3人が4世帯、出産予定が4世帯となっています。

### 補正予算 マイキープラットフォーム運営事業

**問** 今後マイナンバーカードがどこでも使えるようになると、地元の店舗と全国展開している店舗との格差が一層広がっていくのではないか。

**答** 当初、国は、各自治体が個々に店舗を募集し、自治体独自のポイントを付与する自治体ポイント制度の活

用を想定していましたが、キャッシュレスの基盤を整備していく上で、効率的ではないと判断し、大幅な見直しを行いました。その結果、民間のキャッシュレス決済サービスをそのまま活用できるようになり、地元の店舗も不要な支出をすることなくサービスを展開できると考えています。

### 補正予算 個人番号・住基ネットワーク事業

**問** 申請に当たり、IT活用が苦手な人、スマートフォンも持っていないという人へはどのように対応しているのか。

**答** マイナンバーカードの普及を促進させるために、令和元年11月から市役所、吹上支所、公民館、確定申告会場等でマイナンバーカードの申請補助を行っています。その場で顔写真撮影と、市のパソコンから申請をする補助をしています。高齢者も多く利用しており、非常に有効であると感じています。2月末までに1401件の申請の補助を行いました。



## 請願

議請第1号 75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対に関する請願書（不採択）

### 賛成討論

年金が実質目減りする中、医療費をどう賄うか日々苦しんでいるのが多くの高齢者の実態です。新たな負担増を高齢者に強いる口実に、応能負担を持ち出すことは極めて乱暴です。応能負担というのであれば、430兆円も内部留保がある大企業等に応分の負担を求めるべきであることから、賛成します。

### 反対討論

団塊の世代が75歳に到達し始める2022年には、医療費の拡張が一層見込まれると予想されています。医療費の動向を踏まえると、低所得者には配慮し、高所得者には負担してもらつことは、医療費負担のバランスを取るためにも必要であり、現役世代の負担増を抑制するためにも、慎重に進めなければならないことです。今後、持続可能な医療制度を形成するためにも、応分の負担は必要であることから、反対します。

## 請願

議請第2号 選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出についての請願（不採択）

### 賛成討論

夫婦同姓が定められている現行法では、改姓により、多くの人が自分を失うような不利益を被ることがあります。選択的夫婦別姓は誰にとっても幸せな制度になると考えています。これまでの家制度をやめて、個人の尊厳と両性の本質的平等が買われることで、初めて日本は民主主義の国と言えるところから、賛成します。

### 反対討論

選択的夫婦別姓の導入については、お墓の問題、子どもへの福祉、戸籍制度のあり方など、解決しなければならぬ難しい課題が多く、国でも議論が継続されています。一日も早く民法を改正したいとのことで、課題に対する具体的な展望がないことから、時間をかけて、しっかりと丁寧を検討すべきであることから、反対します。

## 意見書

議員提出議案第1号 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた丁寧な論議の推進を求める意見書（原案可決）

### 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた丁寧な論議の推進を求める意見書（抜粋）

選択的夫婦別姓制度とは、夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の姓を称することを認める制度です。

日本では現在、民法で夫婦同姓と定められ、夫の姓を選択する夫婦が9割以上に上っています。今は一人っ子同士が結婚するケースが多く、親の離婚や再婚に伴って名字を変えさせられた結果、アイデンティティの喪失に悩む子どももいます。

一方、夫婦や親子で姓が異なると家族の一体感が損なわれるのではないかと意見もありますが、内閣府が2017年に実施した調査では、家族の一体感に「影響がないと思う」との回答が64.3%に上りました。

政府は法制審議会でも導入の方向性を出しています。国におかれては、選択的夫婦別姓制度について、戸籍制度等の社会的な影響範囲も含めて、各方面に配慮しながら丁寧な論議を進めるよう要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年3月27日

鴻巣市議会

## 新型コロナウイルス感染症への鴻巣市議会の対応について

令和2年2月26日（水）、政府より「この1、2週間が感染拡大防止に極めて重要であり、今後2週間は、イベント等の中止、延期又は規模縮小等の対応を要請する」との発表がありました。

3月2日（月）開催の代表者会議において、新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応について、各会派代表者と協議を行い、同日開催された議会運営委員会において、執行部が新型コロナウイルス感染症対策に全力で対応できるよう、一般質問を取りやめたいこと、3月中旬までが感染拡大の山場であり、会期を3月27日（金）まで延長し、3月16日（月）から再開したいとの提案が、議長から諮問されました。

議会運営委員会において慎重審議したところ、市民生活を最優先に考えた場合、やむを得ないとの意見が多くありました。協議の結果、会期は27日（金）まで8日間延長し、一般質問及び代表質問を取り止め、各常任委員会は一日の開催とすることとなりました。